※令和４年度以降入学生用

学校番号	1208

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新　高校の数学Ａ」　（数研出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学Ａでは、今まで学んだ数学の考え方や計算のルールをもとに、さらに発展的な内容を取り扱います。授業では中学校の内容や１年生「基礎数学」の復習から丁寧に説明し、数学が得意でない人も安心して勉強できるよう工夫していますので、前向きな気持ちをもって授業に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

次のような数学的活動を通して、社会で生きていく力、粘り強く物事に取り組む力を身につけさせることをめざす。

【a 知識及び技能】
図形の性質、場合の数と確率の基本的な概念や法則等を理解し、事象を数学的に表現、処理する力を習得させる。

【b 思考力、判断力、表現力等】
数学的な認識や思考を理解し、さまざまな図形や事象について数学的に捉え、考察し、判断する力を身につけさせるとともに、自分の考えを論理的に表現する力を伸ばす。

【c 学びに向かう力、人間性等】
数学のよさや有用性を認識し、問題解決のために数学を活用する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形の性質、場合の数と確率の基本的な概念や法則等を理解し、事象を数学的に表現、処理する力を習得している。	数学的な認識や思考を理解し、さまざまな図形や事象について数学的に捉え、考察し、判断できるとともに、自分の考えを論理的に表現できる。	数学のよさや有用性を認識し、問題解決のために数学を活用しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　場合の数と確率	第1節　場合の数 1. 集合 2. 集合の要素の個数 3. 和の法則と積の法則 4. 順列 5. 組合せ 第2節　確率 1. 事象と確率 2. 確率の計算 3. 独立な試行と確率 4. 条件つき確率 5. 期待値	a:場合の数と確率についての概念や性質を理解し、さまざまな事象について場合の数や確率を求めることができる。 b:さまざまな事象を数学的に捉え、場合の数や確率を求める方法を考察できる。 c:自己の学習を振り返り、成果や課題を発見できる。本単元の学習を通して、数学の有用性や実生活との関係に気づく。	定期考査	定期考査 提出プリント 振り返りシート	提出プリント 振り返りシート 観察
2学期	第2章　図形の性質	第1節　平面図形 1. 図形の基本 2. 角の二等分線と線分の比 3. 三角形の外心、内心、重心 4. 円周角の定理 5. 円に内接する四角形 6. 円の接線 7. 方べきの定理 8. 2つの円 9. 作図 第2節　空間図形 1. 空間の直線、平面 2. 正多面体 3. 立体の切断	a:基本的な図形の性質や定理を理解し、値を求めることができる。 b:さまざまな図形を観察し、基本的な性質や定理を活用しようとする。 c:自己の学習を振り返り、成果や課題を発見できる。本単元の学習を通して、数学の有用性や実生活との関係に気づく。	定期考査	定期考査 提出プリント 振り返りシート	提出プリント 振り返りシート 観察
3学期	第3章　数学と人間の活動	1. 約数と倍数 2. ユークリッドの互除法 3. 2進数 4. 点の位置の表し方 5. 数学とゲーム･パズル	a:数学と人間の関わりについて学ぶとともに、さまざまな数学的概念や考え方を理解する。 b:さまざまな事象を数学的に観察し、考察し、判断しようとする。 c: 自己の学習を振り返り、成果や課題を発見できる。さまざまな命題を通して、数学の有用性や実生活との関係に気づく。	定期考査	定期考査 提出プリント 振り返りシート	提出プリント 振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度